

# 漁況予報 い わ し

## 第200号

【2017年3～4月漁期】

※1 平年：過去5年平均

※2 被鱗体長：口先から尾ビレの付け根までの長さ

### = 概況 =

#### 【マイワシ】

主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は、1月は14トンで、不漁の前年(2トン)を上回ったものの、平年<sup>※1</sup>(85トン)を大きく下回りました。2月は1トン(速報値)で、前年(12トン)及び平年(32トン)を大きく下回りました。

まき網は、餌イワシとして漁獲がありました。

魚体は、2ヶ月とも被鱗体長<sup>※2</sup>(以下同)11-13cmの2016年生まれの1歳魚主体でしたが、珍しくこの体長にして多くが成熟個体でした。なお、漁業調査指導船「江の島丸」が2月に三宅島三本漁場でさば資源調査を行った際、18-23cmの成熟した大羽マイワシが多く混獲され、昨年以上に集群していることがうかがえました。

#### 【カタクチイワシ】

主要定置網におけるカタクチイワシ総漁獲量は、1月は18トンで、不漁の前年並(11トン)で平年(150トン)を大きく下回りました。2月は115トン(速報値)で、前年並(120トン)で平年(345トン)を大きく下回りました。なお、両月とも下旬に発生した暖水波及時にまとまった来遊が見られました。

鴨居地区及び佐島地区(1ヶ統)のまき網は餌イワシとして断続的に漁獲しました。

魚体は、8-11cmの未成魚～小型成魚主体となりました。

#### 【シラス】

前号でお知らせしたとおり、当所ではしらす船曳網漁業連絡協議会の協力により、今年もシラスの禁漁期間中(1月1日から3月10日)に、相模湾内で試験操業を実施しました。1月は全般に前年同期以上の反応があり、マシラス主体にカタクチシラスが混じる(全長30mm前半)反応が広範囲に出現しました。2月および3月の調査では沿岸漁場での採集水準は落ちましたが、3月の調査において沖合の大楠定置前で春シラス漁に繋がる全長18mmから20mm前半のマシラス新仔を表層曳きで採集することができ、既に相模湾へマシラスの来遊が始まっている模様です。水温は前年同様14℃から15℃台で推移しており、シラスの来遊条件としては良い状況にあります。また、サヨリ船曳網船の網にシラスが引っ掛かるという情報もあることから、解禁直後からの漁獲に期待したいところです。

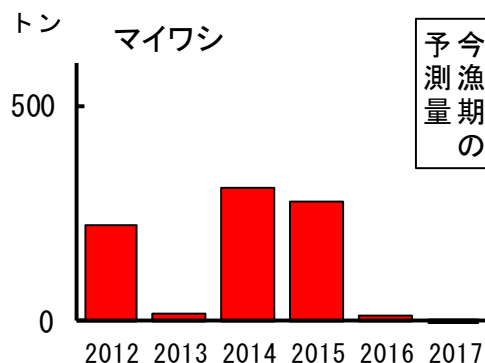
# = 予 報 =

過去5年の3・4月漁期の漁獲量と  
今漁期の予測量

## 【マイワシ】

今漁期は、2016年生まれのヒラゴ～小羽マイワシ（12～14cm）が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、親潮勢力が弱く1歳魚の南下回遊が少ないと思われることから、前年並の約2トンと予測されます。

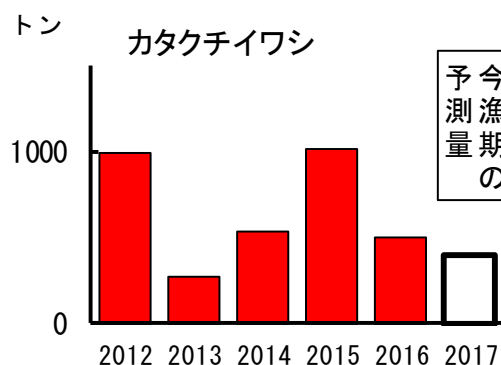


※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

## 【カタクチイワシ】

今漁期は、引き続き2016年生まれの未成魚～小型成魚（8～11cm）が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、1～2月の県内主要定置網の漁獲量から、前年並の約400トンと予測されます。



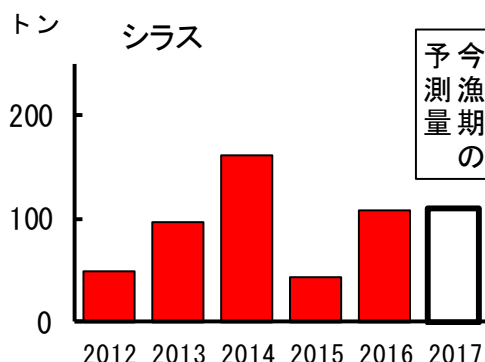
※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

## 【シラス】

今漁期は、概況でも書きましたように2月以降に生まれたマシラスが多い漁模様になると思われる、特に3月から4月上旬はマシラス主体となるでしょう。

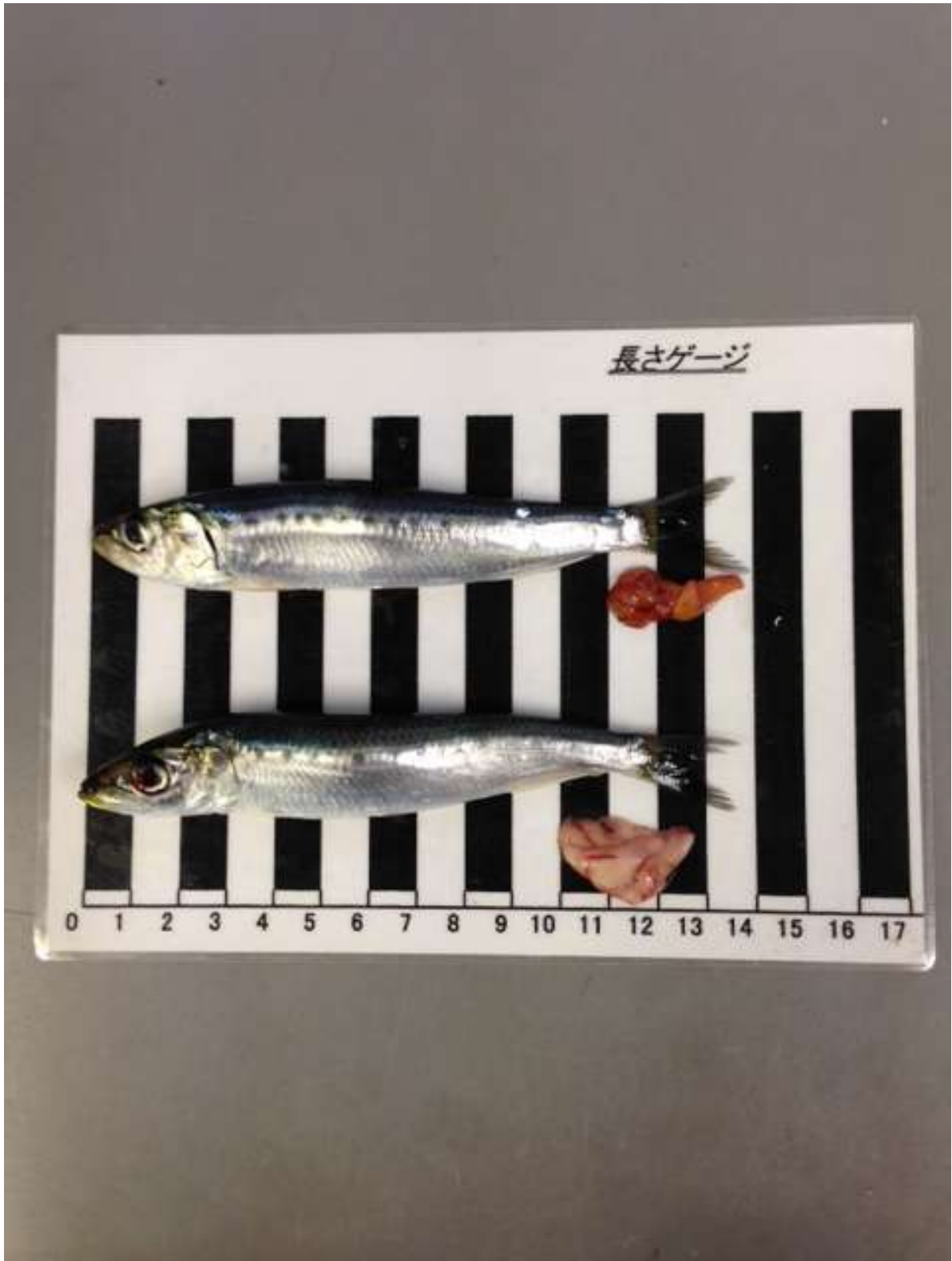
また、相模湾内の水温も昨年同様来遊しやすい環境にあります。

今漁期の漁獲量は、前年並の約110トンと予測されます。



☆漁況予報「いわし」が皆様のご協力により200号を迎えることが出来ました。今後とも、皆様の期待に添えるよう努力する所存です。引き続きよろしくお願いいたします。

神奈川県水産技術センター企画資源部  
三浦市三崎町城ヶ島 (046) 882-2313



2017年2月24日に相模湾の定置網に入網したヒラゴ  
体長11cm台ながら成熟した個体が多かった

(上: ♀、体長11.6cm、KG 7.1 下: ♂、体長11.4cm、KG 8.4)